

肝細胞癌患者様ご紹介のお願い（RFA 対象・TACE 対象・薬物療法対象の患者様）

現在、新型コロナ感染が拡大しておりますが、近畿大学病院では、肝癌治療に関しては通常治療を継続して行っています。

いつも大変お世話になっております。このお手紙は近畿大学消化器内科に過去にご紹介頂いた先生方にお送り致しております。現在、近畿大学は肝細胞癌の新しい治療の開発のために肝癌高度先端治療研究センターを設立し、最先端の治療を厚生労働省あるいは日本医療研究開発機構（AMED）の研究助成をいただきながら急ピッチで変わりつつある肝細胞癌の治療の研究開発をグローバル研究拠点として進めているところであります。

現在行っている最先端の治療（臨床試験・治験）としては、① 肝切除・ラジオ波焼灼療法前後のアジュバント治療、② 肝動脈化学塞栓療法（TACE）と分子標的薬・免疫療法との併用療法、③ 脈管浸潤や遠隔転移を伴う高度進行肝細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害剤と分子標的薬の組み合わせ治療などがあります。企業治験以外は全て公的資金あるいは企業から研究費を獲得して施行しております。

ラジオ波焼灼療法や肝切除が必要な患者様、あるいはラジオ波焼灼療法や肝切除が終わった直後の患者様、②TACE が対象となるような患者様（基本的には初回 TACE 症例が組み入れ対象となりますが、1-2 回の TACE 歴があっても組み入れ可能な治験もございます）、③TACE が効かなくなり、抗がん剤（レンバチニブやアテゾリズマブ+ベバシズマブなど）の投与の対象となる患者様、または抗がん剤（レンバチニブ、アテゾリズマブ+ベバシズマブ）投与にて効果がみられない患者様がおられましたらぜひ次治療の前に御紹介いただければ幸いに存じます。従来の標準治療よりは確実に良い治療効果を患者様に提供することが可能な状況になっております。ご紹介のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

学校法人 近畿大学理事（医学部・病院担当理事）
近畿大学医学部消化器内科学 主任教授・診療部長
肝癌高度先端治療研究センター・センター長
工藤 正俊